

市報

かみのやま

また来たくなるまち ずっと居たいまち ~クアオルト かみのやま~

11

2022.11月号
No.1551

宵の湯のまち
艶やかに



■ふるさと秋まつり 踊り山車

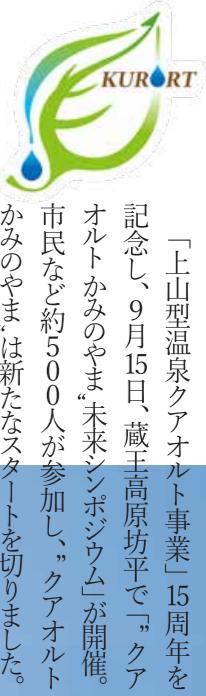
T topics

- p2-3 上山型温泉クアオルト事業15周年記念
- p4-5 知っていますか?ヤングケアラー
- p10-11 かみのやま教育の日2022



市報
電子版





かみのやまは新たなスタートを切りました。

自然環境や温泉、食などの地域資源を活かし、官民一体で取り組んできました”心と体がうるおうまちづくり」「上山型温泉クアオルト事業」は、先進のドイツにならない、平成20年度に開始。現在、市民の「クアオルト」認知度は8割を超えて身近なものとして地域に根付き、多様な広がりを見せてています。

「クアオルト」のさらなるイメージ定着と質の向上を図る「クアオルトかみのやま“未来シンポジウム”では、「市民が主役」「笑い」をキーワードにさまざまな企画が展開。公募で集まつた市民3人となおきさん（お笑いタレント・応援プロデューサー）による「クアオルト漫才」では、「クアオルト」をテーマとしたユーモア

あふれる掛け合いに、会場は大きな笑いと拍手に包まれました。「クアーグランプリ」では、「クアオルト」、「SDGs」をテーマに計9団体が日ごろの活動を発表。また、葛西紀明さん（スキージャンプ選手・市公認蔵王坊平アンバサダー）をはじめとする、8人の審査員が審査・講評を行いました。

このほか、蔵王坊平のみな

さんが中心となって開発し県内外企業の社員に提供している各種プログラムの体験や、地元食材を使い、管理栄養士監修のもと開発した体に優しいメニュー「こだわりランチ」の提供なども実施。参加者は全身で”クアオルトかみのやま”を楽しみました。

参加者からは「ここで暮らす人、働く人それぞれにとってのクアオルトを感じることができた」「上山にこんなに個性的で面白い人たちがいたんだ!」といった声が。「クアオルト」の主役は市民一人ひとり。さまざまな活動に関して、100年後も持続可能な心と体がうるおうまちとしての新たな幕が開きました。



▲恵まれた自然を活かした7つのプログラム（クアオルト健康ウォーキング・五感を開放する森林浴・森林浴エクササイズ・姿勢矯正ストレッチ・森ヨガ・スポーツ鬼ごっこ・蜜蠟キャンドルづくり）を計123人が体験した



▲蔵王坊平エリア内で昼食を提供している4施設（ライザレストラン・ヒュッテハイジ・ラビィハウス・チエビオット）が管理栄養士と開発した「こだわりランチ」。栄養バランスやカロリー、塩分に配慮されつつも食べ応えのある食事メニューに参加者は舌鼓を打った

TOPIC

図書館で記念展示

9月1日～10月23日、市立図書館で記念展が実施。15年の歩みを振り返った年表や表彰状などに多くの人が足を止めました。



クアオルトのイメージ“心と体がうるおうまち”を広く市民のみなさんにPRスターの投票を開始！

新たにポスターを作成するにあたり、みなさんの声をお聞かせください。投票は右の二次元コードから受け付けています。全8案から2つに投票をお願いします。



かみのやま ココは、市民が主役の

“心と体がうるおうまち”



NEXT 子どもの生活 実態調査 を実施します

子どもの貧困対策やヤングケアラーに対する支援が必要な場合、実態を把握するため、今年度中にアンケート調査を予定しています。調査結果をもとに、課題の整理や今後の支援策を検討していますので、ご協力お願いします。

対 小学5年生、中学2年生、16歳～17歳の高校生等およびその保護者(予定)

こんな支援も



フードドライブに
ご協力ください

フードドライブとは、家庭や職場で余っている食品を持ち寄り、必要としている支援団体に寄附する活動です。

今回市で集める食品は、かみのやま子ども食堂「かえる家」(フードバンク活動団体)に寄附し、年末年始にかけて食品を必要とする子育て世帯などに提供する予定です。

◎受け付けている食品

△お米△乾麺(カップ麺、うどん、そば、そうめんなど)△缶詰△瓶詰(佃煮のり、鮭フレークなど)△レトルト食品△ルー(カレー、シチューなど)△調味料(味噌、醤油、砂糖など)△非常食(アルファ米、乾パンなど)△ギフトパック(お中元、お歳暮など)
※いずれも賞味期限が1ヶ月以上残っており、常温保存のものに限ります。

×受け付けできない食品

△消費・賞味期限切れのもの△開封されているもの△虫がわいている米△生鮮食品(肉、魚介類、野菜)△アルコール△成分またはアレルギー表示がないもの△製造者または販売者が表示されていないもの

期 11月28日(月)～12月2日(金)午前9時～午後5時

場 子ども子育て課(市役所1階⑪番窓口)

ヤングケアラーの大きな問題の一つは、子どもが家族のことを誰にも相談できずにひとりで抱え込んでしまうことです。面白な子どもほど家族を思つてケアに携わり、それが長期化するうちに「これ以上は無理だ」と学校生活を諦めてしまうことも少なくありません。ヤングケアラーが倒れてしま前に、子どもの話を丁寧に聴いて早期に発見し、必要な支援に

今後の課題と本市の取組

ことが期待されています。

ヤングケアラーの大きな問題の一つは、子どもが家族のことを誰にも相談できずにひとりで抱え込んでしまうことです。面白な子どもほど家族を思つてケアに携わり、それが長期化するうちに「これ以上は無理だ」と学校生活を諦めてしまうことも少なくありません。ヤングケアラーが倒れてしま前に、子どもの話を丁寧に聴いて早期に発見し、必要な支援に

つなげることが大切です。そのためには、学校や関係機関と連携し、バックアップできる体制を構築することが重要です。

その体制づくりとして、本市では令和4年度から、県内初のヤングケアラーコーディネーターを配置し、ヤングケアラーへの専門支援を開始しました。ヤングケアラーコーディネーターは①ヤングケアラーやその家族、関係機関からの相談支援②福祉や医療、介護など適切な支援機関との連携③広報活動や関係機関への研修などを実施して行っています。

NEWS 研修会を開催しました



10月3日、市内小・中・高等学校教員、保育園・認定こども園、放課後児童クラブの職員などを対象に、ヤングケアラーの理解と支援に関する研修会を開催しました。受講者は、実際の事例や連携して支援する仕組みなどについて意見を交換しました。

市民のみなさんへ

ヤングケアラーへの支援は、そのお子さん・家庭によって異なります。近隣・身近な児童で、学校に行かず家族やきょうだいの世話をしているなど「ヤングケアラーかもしれない」と感じた時には、一人で悩まず、お気軽に子ども子育て課にご相談ください。

《午前8時30分～午後5時15分 ※土・日・祝日・年末年始を除く。》

●子ども子育て課 672-1111 内線128

相談してみませんか?《24時間365日受付》

●24時間子どもSOSダイヤル(文部科学省)

0120-0-78310(なやみいとう)

いじめやその他の子どものSOS全般について、こどもや保護者などが夜間・休日を含めて24時間いつでも相談できる、都道府県および指定都市教育委員会などによって運営されている全国共通ダイヤルです。

●児童相談所全国共通ダイヤル

189(いちはやく)

児童相談所は、こどもの健やかな成長を願って、ともに考え、問題を解決していく専門の相談機関です。最寄りの児童相談所へ相談できます。

知っていますか?

ヤングケアラー

問 子ども子育て課 内線128

ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは、「本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることで、負担を抱える、もしくは子どもの権利が侵害されている可能性がある18歳未満の子ども」のことと言います。ケアの内容は、高齢者の介護に限らず、病気や障がいのある家族の介助や見守り、精神的な問題を抱えた家族の世話や感情的なサポート、幼いようだいの世話や家事、日本語が第一言語ではない親や障がいのある親の通訳など多様なケースがあります。(下図参照)

国が令和3年3月に発表した「ヤングケアラーの実態に関する調査結果」によると、「世話をしている家族がいる」と回答した中学2年生は17人に1人(5.7%)でした。

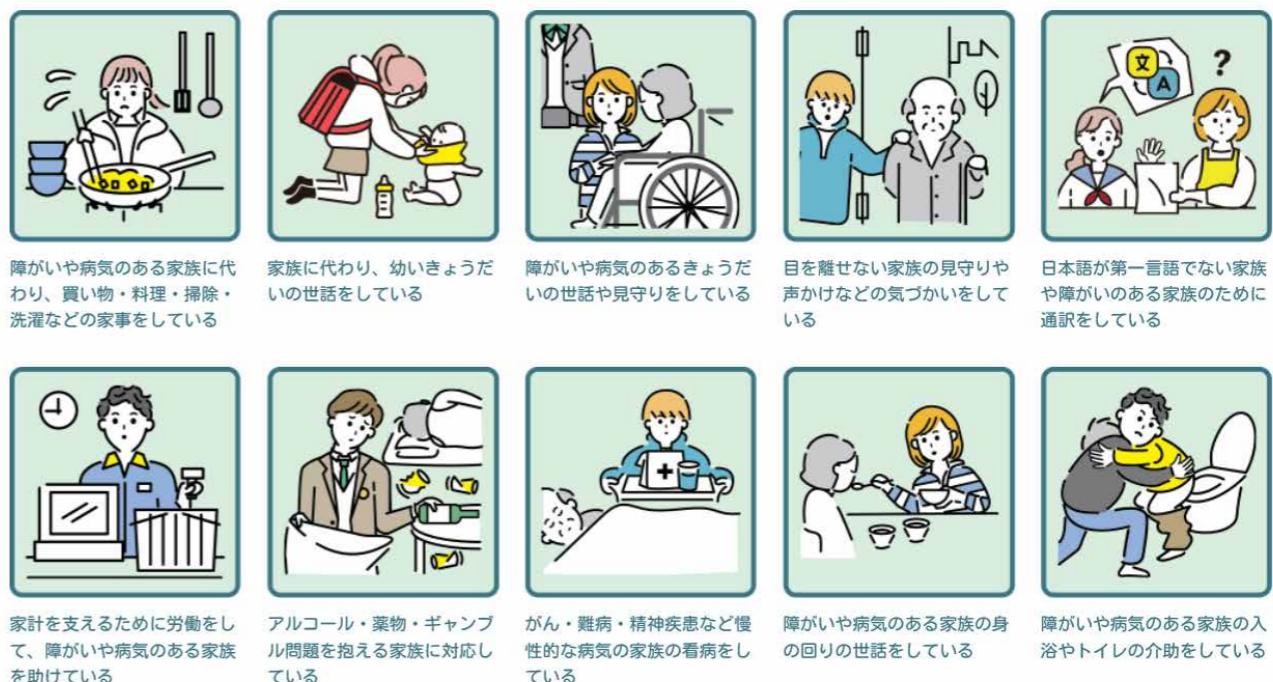
子どもが家族の手伝いや手助けをすること自体は悪いことではありません。しかし、その負担が重いために、疲労や睡眠不足で心身に不調をきたし難しい状況にあります。

国は令和4年度から3年間をヤングケアラー認知度向上の「集中取組期間」とし、積極的な広報・啓発活動を推進しています。ヤングケアラーが広く認識されることで、ヤングケアラーを早期に発見して必要な支援につなげ、本人やその家族が支援を求めてよいことを認識し、安心して相談しやすくなる

たり、学業に支障が生じたり、友達と遊ぶ時間がそれなかつたりすることで、子どもとして守られるべき権利が侵害され、できない場合があります。また、そのことで進路やその後の人生にまで影響が及ぶこともあります。

認知度向上が重要

図 ヤングケアラーとは(出典:厚生労働省)



10/2 むし歯のない白い歯でにっこり♪



市歯科医師会が主催する歯のコンクールで入賞し、園長から賞状を受け取った「きらきら乳歯」のみなさん（上山幼稚園）

市内の保育園・幼稚園に通っている年長児でむし歯のない「きらきら乳歯」100人と、80歳以上で自分の歯を20本以上持つ「歯のきんさん・ぎんさん」31人が、各保育施設・歯科医院で表彰されました。

10/16 大雨による災害に備えて



中山地区内で「市総合防災訓練」が行われ、地区民や消防団、市職員など約200人が参加。避難訓練や土のうを使用した水防訓練のほか、災害用伝言ダイヤル体験や避難所生活体験などを通じて災害への備えを確認しました。

10/9 家族みんなでおまつりだ！



市民公園で「けやきの森のおまつり2022」が開催され、たくさんの来場者で賑わいました。屋台や雑貨販売、はたらく車の展示、ステージ発表などが繰り広げられ、幅広い世代のみなさんが秋の一日を満喫しました。

ありがとうございます



明治安田生命保険相互会社
山形支社上山営業所
(加藤順一 営業所長)

市民の健康増進などの地域振興に役立ててほしいと71万7,000円を寄附いただきました。

9/14 農業の道、踏み出す若者にエール



市役所で「新規就農者激励会」が開かれ、今年度の新規就農者7人のうち5人が出席しました。横戸市長は「農業は市の主幹産業。より良いものを作り、付加価値を高めていくために経営者としての視点・感覚を磨いてほしい」と激励しました。

9/21～22 持続可能な上山の未来のために



市職員の政策形成能力の向上および新たな成長戦略推進のため、市役所で未来投資事業の企画提案が行われました。今回は、持続可能なまちづくり「SDGs」を見据えたテーマで各課が発表。今後、採択された事業実施に向けて協議が進められます。

宝くじの助成を受けて備品を整備しました

問 市政戦略課 内線226



一般財団法人自治総合センターから宝くじの助成を受けて、八幡丁自治会が公民館の備品を整備しました。



【整備した備品】△除雪機△エアコン

9/25 笑顔でにぎわう“笑”店街



十日町商店街で「十日町いろは市」が開催され、たくさんの家族連れが各商店自慢の品の販売やスタンプラリーなどを楽しみ尽くしました。訪れた人は「食や雑貨など、それぞれのお店の魅力を満喫できた」と笑顔を見せました。

9/21 交通事故ゼロを目指して



「秋の交通安全県民運動」の一環として実施

「早め点灯・交通事故防止人波作戦」がヨークタウン前交差点で行われ、参加者40人がプラカードやのぼりで交通安全を呼びかけました。運転時には制限速度を守り、早めに点灯するなど事故防止に努めましょう。

9/24 「宝石」のようなひととき



本市に縁のある演奏家9人によるコンサート「Edelstein2022」が三友エンジニア体育文化センターで開催され、約180人がピアノやトランペット、声楽などの演奏に聴き入りました。訪れた人は「生演奏の迫力に感動した」と満面の笑みを浮かべました。

9/28 社会奉仕の一助として



例年の社会奉仕活動「ふれあいINかみのやま」の代替として実施

上山ロータリークラブ(枝松祐子会長)から市内14か所の養護学校・福祉施設へ、アルコール消毒液・使い捨てゴム手袋が贈呈されました。上山いずみの家の原憲司施設長は「大切に活用させていただき、感染予防に努めたい」と感謝を述べました。



低所得者世帯の冬期間の生活支援として 灯油購入費などを助成します

問 福祉課 内線142・147

一定所得に満たない◇高齢者世帯◇障がい者世帯◇ひとり親等世帯に対して灯油購入費（1世帯あたり1万円）を助成します。※対象世帯には、10月末頃に申請書と詳しいお知らせを送付しています。

対 次の①～③のすべてに該当する世帯

※令和4年10月1日現在で生活保護受給世帯や社会福祉施設等の入所者のみの世帯は対象外。

①令和4年度市町村民税が世帯員全員非課税

②令和4年10月1日現在で本市に住民登録がある

③次のいずれかの世帯条件（高齢者・障がい者・ひとり親）に該当する

【高齢者世帯】…65歳以上（昭和33年4月1日以前生まれ）のみで構成される

【障がい者世帯】…次のいずれかに該当する世帯（令和4年10月1日時点の手帳の所持で判断）

◇身体障害者手帳1級・2級の人がいる◇療育手帳Aの人がいる◇精神障害者保健福祉手帳1級の人がいる

【ひとり親世帯など】…次のいずれかに該当する世帯

◇父親または母親がいない18歳未満（平成16年4月2日以降生まれ）の児童を扶養している◇両親が死亡または行方不明などの特別な理由により、18歳未満（平成16年4月2日以降生まれ）の児童を扶養している

申 送付された申請書を、令和5年1月31日（火）まで同封の返信用封筒で郵送してください。



「お出かけはマスク戸締まり 火の用心」 令和4年秋季火災予防運動

問 市消防本部 ☎672-1190

期 11月9日(水)～15日(火)

秋は、空気が乾燥し風が強く、火災が発生しやすい気象状況です。次の点を確認し、大切な命と財産を守りましょう。

①住宅用火災警報器の設置促進・維持管理

一般住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。設置していない人は、早急に設置してください。ホコリなどが付着していると火災を感じにくくなるので、汚れを拭き取ってください。乾電池タイプのものは定期的に電池交換が必要です。設置後10年が経過すると、機器が劣化するため、交換をおすすめします。

②消火器の設置

初期消火に抜群の効果を発揮します。住宅用消火器を設置しましょう。

③防炎品の使用

防炎品とは、燃えにくい素材を使った製品のことです。火災を未然に防ぐだけでなく、初期消火や避難に必要な時間を稼ぐことができます。寝具や衣類、カーテン、じゅうたんなどを防炎品にすることで、「燃えない」環境を整備しましょう。



1_沿道に集まった市民は写真を撮ったり手拍子をしたりして祭りを盛り上げる／2_息の合った唄と踊りで観客を引きつける／3_市内の若者が中心となって力強く山車をひく



かみのやまの 秋祭り



9月18日、3年ぶりに開催された秋祭り。
賑やかに彩られたまちなかの様子を写真で紹介します。



三社神輿渡御行列

月岡神社、八幡神社、宮脇正八幡神社による伝統行事。古式ゆかしい衣装に身を包んだ約150人がまちを練り歩きました。

4_雅やかな稚児衣装で歩みもおしとやかに／5_祈りを込めてお賽錢を渡す／6_鼓笛楽隊の奏でる祭りばやしが響き渡る。「やっぱり秋はこの音色！懐かしい」という声も

斎藤茂吉生誕140年記念特別企画

茂吉入門 その魅力 その偉大さ

第8回

斎藤茂吉生誕140年の節目にあたり、斎藤茂吉記念館の秋葉四郎館長の寄稿を通して歌人として一人の人間としての斎藤茂吉に迫ります。



秋葉四郎



千葉市在住。平成25年、館長に就任。歌人・文学博士・歌誌「歩道」発行人

茂吉の言葉の使い方

斎藤茂吉の言葉の使い方で注意する点は、散文でも、会話の言葉でもなく、韻文・短歌の作品表現の場合です。茂吉の短歌は視野が広く、自由自在にあらゆることを歌にしましたので、読むとどの歌も面白い。その言葉の使い方に注意するとより感動を新たにします。例えば、

最上川逆白波のたつまでに
ふぶくゆふべとなりにける
かも

『白き山』

という作。吹雪の最上川を詠つていりほど堂々と歌い上げている作品は他に例がありません。なかでも「逆白波」という言葉が強く働いています。川の流れに対して川下から激しく吹き上げる風に立つ波が逆波で、強風にあおられて波が碎け白波となります。これを併せて「逆白波」と茂吉は詠いました。この「逆白波」と初めて表現したのは茂吉ですから、「造



▲冬の大石田最上川湖畔にて
「あかがねの色になりたるはげあたま」が懺悔・反省をする際の詠嘆にぴったりの言葉として働いています。

角度を変えて例を挙げてみましょう。茂吉は同じ対象を歌にする場合も同じ用語とは限りません。例えば、ドナウ河を「ドナウ」とも詠い、どちらも相当数の歌があります。歌集『遍歴』の「ドナウ源流行」一連の第一首は、

中空の塔にのばればドウナウ
は白くさらひて西よりながる

Ulm

※1

あひ合ひてドウナウとなる
ところ見つ水面は白し日の
かがやきに

同じ一連のすぐ後には、

**なほほそきドナウの川の
みなもとは暗黒の森にかくろ**

ひにけり *Schwarzwald

※2

※1 (Ulm・カルム) …ドイツ南西部の町。

※2 (Schwarzwald・ハルヴァル・ツヴァール) …ドイツ南西部の森。

分厳しい自嘲です。太平洋戦争終結時、一億総懺悔と言った流行語がありました。茂吉は自ら厳しい懺悔をしたのです。

歌集 遍歴 斎藤茂吉

▲歌集『遍歴』

茂吉が奔放にこういう用語を使っているのではなく、必ず根拠があります。もつと言えば現地で実際に人々に使われている言葉を大切にしたのであります。

↓12月号へ続く